



アドビシステムズ社、 Adobe Labs で Adobe Story の提供を開始

**画期的なスクリプト（台本）制作ツールにより、
表現力豊かな視聴体験を実現し、制作コストを削減**

【2009年9月11日】

米国カリフォルニア州サンノゼ、オランダ アムステルダム発（2009年9月10日） Adobe Systems Incorporated（NASDAQ：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は2009国際放送見本市（IBC2009）において、オンラインとオフラインのどちらでも（ネット接続の有無に関わらず）使用でき、複数のメンバーでコラボレーションしながら、映像制作の企画・プリプロダクション段階から制作作業を始めることができるスクリプト（台本）制作ツール Adobe® Story™ の提供を Adobe Labs (<http://labs.adobe.com/technologies/story>) を通じて開始したと発表しました。Adobe Story は映像制作における企画・プリプロダクション用のソフトウェアで、今後発表される Adobe Creative Suite® 製品ファミリーをはじめとするアドビシステムズの製品に組み込まれる予定です。ビデオ制作ワークフローの効率改善と制作コスト削減を目的として開発された Adobe Story は、台本の情報をワークフロー全体を通して利用することができるメタデータへと自動的に変換します。

アドビシステムズ社は9月11日（金）から15日（火）までの間、IBC 2009 が開催されているオランダ、アムステルダムの RAI Convention Center の同社ブース（ホール7、スタンド H.23）にて Adobe Story のデモを行います。

アドビシステムズ社 ダイナミックメディア部門 バイスプレジデント兼ゼネラル マネージャーのジム ジェラルド（Jim Guerard）は、「今日、放送局やメディア企業はコンテンツの作成と配信の手段に変革をもたらす新たなビデオ ワークフローを求めています。プリプロダクション段階で制作された台本のデータをその後のワークフローに活用することで Adobe Story は制作ワークフローの劇的な合理化とトータルコストの削減だけでなく、エンターテインメントの双方向性と魅力を高めることのできる画期的な新しいツールを企業に提供します」と述べています。

台本からスクリーンへ

Adobe Story は、制作プロセスの簡素化、コスト削減、そして、カメラマンや編集者、監督、そしてその他のプロジェクト開発に関わる人々に新たなレベルでの効率をもたらす多彩な手段を提供します。台本に記された撮影場所や役柄などの情報を、Adobe Story で入力、もしくは読み込ませると、重要なメタデータが Creative Suite Production Premium に含まれる他の製品に自動送信され、素材の取り込みや編集作業の効率が改善されます。オンライン配信可能な段階にまでビデオ制作作業が進めば、視聴者はメタデータを、好みのキャラクター、エピソード、あるいはシーンを探すなどのオンライン・コンテンツの発見と検索をサポートするツールとして使用できるので、視聴体験の双方向性と魅力がさらに高められます。

コラボレーションベースの台本作成

台本作成は一般的に当初のアウトライン、複数のドラフト稿、最終ドラフト、撮影用台本、および最終台本に添付される制作ショットリストを含めた複数のプロセスで進められます。Adobe Story は、ほぼどのような制作プロジェクトにおいても、このプロセスの簡素化と迅速化をもたらします。

Adobe Story には、プロジェクト参加者が互いのアイデアをいつでもやり取りすることができる、豊富なビジュアル効果を備えた環境が整っています。ユーザーは Adobe Story を使い、その業界標準のフォーマットを活用して台本作成を始められます。また Microsoft Word や Final Draft を含むさまざまなアプリケーションからの台本の読み込みや、あるいは Adobe PDF、テキスト、XML、Movie Magic、CSV などのフォーマットへの書き出しも可能です。プロジェクト参加者は Adobe Story を使ってオンラインとオフラインの両方で作業を進めることができ、またインターネットに接続すれば、入力内容やコメントは自動で同期されます。このフェーズにおいて Adobe Story はシーンの舞台などのメタデータやその他の関連情報を自動で取得し、さらに効率の高いエンドツーエンドのワークフローを作り出します。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Story、ならびに Creative Suite は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの権利帰属者の所有物です。

(C) 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.